

高橋重宏教授年譜及び業績目録

〈年 譜〉

学 歴 等

- 昭和 22 年 2 月 島根県江津市生
- 40 年 3 月 島根県立江津高等学校卒業
- 44 年 4 月 東洋大学社会学部応用社会学科社会福祉専攻卒業〔社会学士〕
- 44 年 4 月 東洋大学大学院社会学研究科社会福祉専攻修士課程入学
- 46 年 3 月 東洋大学大学院社会学研究科社会福祉専攻修士課程修了
- 46 年 4 月 東洋大学大学院社会学研究科博士課程入学
- 49 年 3 月 東洋大学大学院社会学研究科博士課程満期退学

学 位

- 昭和 46 年 3 月 社会学修士（東洋大学大学院）
「論文題目：ケースワークの臨床的事例研究－身体障害者の自殺企図：M・O ケース」
- 61 年 9 月 保健学博士（東京大学乙第 8005 号）
「論文題目：家族関係の健康化に関する研究」

職 歴

- 昭和 48 年 9 月 淑徳短期大学社会福祉学科助手（～昭和 49 年 3 月）
- 49 年 4 月 淑徳短期大学社会福祉学科専任講師（～昭和 54 年 3 月）
- 54 年 4 月 関東学院大学文学部社会学科専任講師（～昭和 56 年 3 月）
- 56 年 4 月 駒澤大学文学部社会学科専任講師（～昭和 57 年 3 月）
- 57 年 4 月 駒澤大学文学部社会学科助教授（～昭和 62 年 3 月）
- 62 年 4 月 駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻修士課程演習担当（～平成 11 年 3 月）
- 63 年 4 月 駒澤大学文学部社会学科教授（～平成 11 年 3 月）
- 平成 元年 9 月 トロント大学大学院ソーシャルワーク学部客員研究員（～平成 3 年 8 月）
- 5 年 4 月 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部長（非常勤）（～平成 23 年 12 月）
- 5 年 4 月 最高裁判所調査官研修所非常勤講師（～平成 23 年 12 月）
- 6 年 4 月 駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻博士後期課程担当（～平成 11 年

- 3月)
- 7年4月 日本女子大学大学院非常勤講師(～平成19年3月)
 - 8年4月 放送大学学園時間講師(社会福祉の方法)(～平成12年3月)
 - 9年4月 放送大学学園客員教授 主任講師(子ども家庭福祉論)(～平成15年3月)
 - 9年4月 岡山県立大学大学院非常勤講師(～平成23年3月)
 - 10年4月 専門学校日本福祉学院社会福祉士通信科非常勤講師(～平成23年12月)
 - 10年4月 日本社会事業大学非常勤講師、同大学院博士前期課程・博士後期課程担当(～平成11年3月)
 - 11年4月 日本社会事業大学教授、同大学院博士前期課程・博士後期課程担当(～平成17年3月)
 - 11年4月 駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻修士課程非常勤講師(～平成23年12月)
 - 12年4月 学校法人日本社会事業大学日本社会事業学校校長(～平成16年3月)
 - 13年4月 北星学園大学大学院非常勤講師(～平成16年3月)
 - 13年4月 岡山県立大学大学院客員教授(～平成22年3月)
 - 15年12月 日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科設置に関わる文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会より「ソーシャルワークの思想と価値」「社会福祉援助技術」「児童福祉特論」担当科目マル合判定
 - 16年4月 日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科教授・研究科長代行(～平成17年3月)
 - 17年4月 東洋大学社会学部教授(～平成22年3月)同大学院博士前期・博士後期課程 非常勤講師(平成22年4月～平成23年12月)
 - 17年4月 日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科非常勤講師(～平成22年3月)
 - 17年4月 東北福祉大学大学院客員教授(～平成22年3月)
 - 17年4月 高崎健康福祉大学大学院 健康福祉学研究科 保健福祉学専攻 博士前期課程 非常勤講師(～平成23年12月)
 - 17年4月 鹿児島国際大学大学院博士前期課程・博士後期課程非常勤講師(平成23年3月)
 - 22年4月 日本社会事業大学学長
 - 23年12月8日 逝去(享年64歳)

学会及び社会における活動等

【学会活動】

- 昭和44年 日本社会福祉学会会員(～平成23年12月) 庶務担当理事(平成7年～平成10年) 総務担当理事・事務局長(平成10年～平成13年) 理事・会長(平成16年9月～平成19年10月) 理事・副会長(平成19年9月～平成22年10月)

- 46年 日本自殺予防学会会員・理事（～平成23年12月）
- 58年 日本ソーシャルワーク学会（旧日本社会福祉実践理論学会）会員 理事（昭和63年～平成23年12月）理事・副会長（平成8年～平成20年）理事・会長（～平成23年12月）
- 63年 日本保健福祉学会会員 理事（平成3年～平成23年12月）理事・副会長（平成15年～平成19年）理事・会長（平成19年～平成23年12月）
- 平成7年 日本子ども虐待防止学会会員（～平成23年12月）・理事（平成13年～平成19年）・評議員（平成19年～平成23年12月）
- 12年 日本子ども家庭福祉学会会員 理事・会長（平成12年～平成17年）理事（平成17年～平成20年）
- 20年4月 日本社会福祉系学会連合会長（～平成23年3月）

【社会における活動】

- 昭和49年7月 資生堂社会福祉事業財団「児童福祉データバンク作成のための現地調査」ソ連、スイス、オーストリア、チェコスロヴァキア、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、英国、オランダ、西ドイツ、シンガポール、タイ、マレーシア、バングラデシュ、フィリピン、香港、インドを担当（昭和49年7月1日～11月30日）
- 56年9月 青少年育成国民会議「総理府委託調査・海外青少年事情調査」東ドイツ、ルーマニア、ハンガリー、チェコスロヴァキアを担当（昭和56年9月1日～10月30日）
- 63年 第1回「社会福祉士」国家試験委員（社会福祉援助技術論）（～平成元年）
- 平成3年9月 厚生省大臣官房政策課「家庭・出生問題総合調査研究事業」運営委員会委員（～平成9年3月）
- 4年1月 中野区学童クラブあり方懇談会副座長（～平成5年3月）
- 4年2月 学位授与機構審査会専門委員（社会福祉）（～平成11年3月）
- 4年4月 全国社会福祉協議会全国児童養護施設協議会中央推薦協議員（～平成22年3月）
- 4年4月 日本学術会議社会福祉・社会保障連絡委員会専門委員（～平成7年3月）
- 4年10月 厚生省児童家庭局「子どもの未来21プラン研究会」委員（～平成5年7月）
- 5年2月 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン「成年市民賞」審査委員（～平成23年1月）
- 5年9月 資生堂社会福祉事業財団主催・第20回資生堂児童福祉海外研修団カナダ・アメリカに講師で同行（平成5年9月8日～22日）
- 5年9月 文部省著作教科書『児童福祉』編集・改訂協力・審査委員（～平成8年3月）
- 6年 子ども家庭サービス研究・教育ネットワーク事務局長（日本子ども家庭福祉学会の前身）（～平成12年）

- 6年6月 神奈川県かながわ子ども未来計画検討委員会委員長（～平成8年3月）
- 6年7月 総理府広報TV番組「ZONE」レギュラーコメンテーター（～平成8年3月）
- 6年8月 神奈川県児童福祉審議会委員（～平成20年8月）同権利擁護部会部会長（平成10年8月～平成20年8月）
- 6年8月 厚生省児童環境づくり推進協議会委員（～平成12年）
- 6年9月 厚生省統計協議会委員（～平成12年12月）
- 6年11月 総務庁・岩手県・青少年育成国民会議主催国際家族年記念「青少年健全育成中央国際フォーラム」（盛岡市・盛岡劇場）デンマーク、カナダ、シンガポールのコーディネーター（平成6年11月2日）
- 6年11月 厚生省・東京都主催国際家族年記念「21世紀の子どもと家庭国際シンポジウム」（東京・京王プラザホテル）カナダ、香港、スウェーデンのコーディネーター（平成6年11月7日）
- 7年2月 厚生省中央児童福祉審議会家庭福祉部会臨時委員（～平成11年1月）
- 7年4月 資生堂社会福祉事業財団『世界の児童と母性』編集委員長（～平成9年3月）
- 7年6月 厚生省厚生統計協議会人口動態統計検討会指標等関係部会部会長（～平成9年3月）
- 7年12月 東京都児童福祉審議会臨時委員（～平成11年3月）東京都児童福祉審議会委員（平成12年3月～平成14年7月）
- 8年9月 厚生省児童家庭局「児童虐待防止のための手引き作成委員会」編集委員（～平成9年3月）
- 8年6月 カナダ国政府学術研究費審査委員（カナダ国大使館）（～平成10年）
- 8年8月 北里大学医学部病院倫理委員会委員（～平成14年7月）
- 8年9月 「平成8年度児童環境づくり等総合調査研究事業：海外調査アメリカ・カナダ」団員（平成8年9月23日～10月10日）
- 9年1月 厚生省統計協議会人口動態統計検討会委員長（～平成12年3月）
- 9年1月 日本赤十字社「21世紀を迎える日本赤十字社の役割とあり方懇談会」座長（～平成10年3月）
- 9年6月 神奈川県かながわ子ども未来計画推進会議委員長（～平成15年3月）
- 9年2月 東京都練馬区児童育成計画専門委員会委員（～平成10年3月）
- 9年6月 東京都葛飾区子育て支援計画策定委員会会長（～平成10年5月）
- 9年6月 埼玉県和光市すこやかプラン策定委員会委員長（～平成10年5月）
- 10年 「社会福祉士」国家試験委員・児童福祉論幹事（～平成15年）
- 10年5月 東京都葛飾区行財政懇談会副会長（～平成12年3月）
- 10年10月 かながわ子ども人権審査委員会委員長（～平成22年3月）
- 10年10月 厚生省福祉専門職の教育課程等に関する検討会社会福祉士班委員（～平成11年3月）
- 10年10月 厚生省児童家庭局「児童虐待対応の手引き編集委員会」委員長（～平成11

- 年 3 月)
- 10 年 10 月 NPO 子ども虐待を考える会理事 (～平成 18 年)
 - 11 年 2 月 厚生省中央児童福祉審議会委員 (家庭福祉部会) (～平成 12 年 12 月)
 - 11 年 3 月 財団法人厚生統計協会理事 (～平成 21 年)
 - 11 年 3 月 社会福祉法人若草会評議員 (～平成 21 年)
 - 12 年 4 月 学校法人日本社会事業大学常務理事・評議委員 (～平成 16 年 5 月)
 - 12 年 7 月 全国社会福祉協議会全国児童養護施設協議会権利擁護委員会委員長 (～平成 18 年)
 - 12 年 7 月 財団法人毎日新聞東京社会事業団理事 (～平成 23 年 12 月)
 - 12 年 10 月 日本学術会議第 18 期社会福祉・社会保障研究連絡委員会委員・幹事 (～平成 15 年 9 月)
 - 13 年 6 月 社団法人日本社会福祉士養成校協会会長 (～平成 17 年 5 月)
 - 13 年 6 月 社団法人日本社会福祉士会理事 (～平成 18 年 6 月)
 - 13 年 4 月 文部科学省高等学校教員資格認定試験専門委員 (～平成 15 年 3 月)
 - 13 年 6 月 埼玉県和光市すこやかプラン策定委員会委員長 (～平成 14 年 3 月)
 - 14 年 1 月 最高裁判所家庭裁判所調査官試験委員会臨時委員 (～平成 23 年 12 月)
 - 14 年 1 月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (～平成 17 年)
 - 14 年 4 月 文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員 (大学設置分科会社会福祉主査) (～平成 18 年 3 月)
 - 15 年 6 月 財団法人山辺福祉財団理事長 (～平成 23 年 12 月)
 - 15 年 8 月 杉並区子ども・子育て将来構想懇談会会長 (～平成 17 年 3 月)
 - 15 年 10 月 日本学術会議第 19 期社会福祉・社会保障研究連絡委員会委員・幹事 (～平成 17 年 9 月)
 - 15 年 5 月 社団法人日本社会福祉教育学校連盟理事・副会長 (平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)・会長 (平成 23 年 4 月～12 月)
 - 15 年 11 月 和光市次世代育成対策地域行動計画策定委員会委員長 (～平成 17 年 3 月)
 - 16 年 3 月 外務省・ユニセフ主催「子どもの権利条約」批准 10 周年記念シンポジウムシンポジスト (東京・国連大学) (～平成 16 年 3 月 29 日)
 - 16 年 5 月 葛飾区子育て支援行動計画策定委員会会長 (～平成 17 年 3 月)
 - 17 年 3 月 和光市次世代育成支援対策地域協議会委員長 (～平成 19 年)
 - 17 年 5 月 社団法人日本社会福祉士養成校協会監事 (～平成 19 年)
 - 17 年 7 月 東京都文京区地域福祉推進協議会会長 (～平成 23 年 12 月)
 - 17 年 10 月 東京都杉並区子ども・子育て専門委員会委員長 (～平成 23 年 12 月)
 - 17 年 10 月 文部科学省主催第 16 回青少年健全育成中央フォーラム、日本・カナダ・フランスのコーディネーター (札幌・かでの 2.7) (平成 17 年 10 月 13 日)
 - 18 年 4 月 財団法人 みずほ福祉助成財団選考委員会委員 (～平成 23 年 12 月)
 - 18 年 6 月 社会福祉法人芳香会理事 (～平成 20 年)

- 18年 7月 全国社会福祉協議会児童養護施設協議会「子ども家庭福祉・社会的養護に関する制度のあり方検討特別委員会」委員長（～平成19年）
- 18年 7月 内閣府「災害時要援護者の避難支援における福祉と防災との連携に関する検討会」委員（～平成19年）
- 18年 8月 日本学術会議連携会員（～平成23年12月）
- 18年 4月 神奈川県児童福祉審議会「児童相談所のあり方検討小委員会」委員長（～平成18年12月19日）
- 18年12月 東京都目黒区子ども施策推進会議会長（～平成23年3月）
- 19年 4月 学校法人 東洋大学評議員（～平成20年3月）
- 19年 4月 東京都社会福祉協議会理事（～平成23年12月）
- 19年 4月 東京都社会福祉協議会総合企画委員会委員長（～平成23年12月）
- 19年 福岡市児童養護施設福岡育児院に関する審査委員会委員長（～平成20年1月）
- 20年 日本社会事業大学専門職大学院第三者評価委員会委員長（～平成21年）
- 20年 4月 東京都文京区地域福祉推進協議会子ども部会会長（～平成23年12月）
- 20年10月 東京都児童福祉審議会委員、権利擁護部会長（～平成23年12月）
- 21年 6月 社会福祉法人芳香会監事（～平成23年5月）
- 21年 在日韓国老人ホームを作る会会長（～平成23年12月）
- 21年 6月 第21期日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会委員長（～平成23年12月）
- 23年 5月 社団法人日本社会福祉士養成校協会外部理事（～平成23年12月）

〈業績目録〉

【編・著書等】

- 昭和49年 7月 『日本の自殺を考える』「情死と親子心中」加藤正明・多々井吉之助編著
医学書院
- 52年 4月 『ソーシャル・ワークの基礎』「ソーシャル・ワーク」「ソーシャル・ワークの研究方法」吉沢英子編著 相川書房
- 53年11月 『社会病理学入門』「自殺」大橋薫・望月崇・宝月誠編著 学文社
- 55年 4月 『社会福祉を考える』高橋重宏・島村忠義編著 川島書店
- 56年 『現代社会福祉論』「社会福祉の方法」仲村優一・一番ヶ瀬康子他編著 学文社
- 56年 9月 『ソーシャル・ワークを考える』高橋重宏・宮崎俊策・定藤文弘編著 川島書店
- 57年10月 『犯罪・非行と人間社会ー学際的アプローチー』「自殺・心中」菊田幸一・西村春夫編著 評論社
- 57年 4月 『児童福祉ーその福祉と倫理の探求ー』高橋重宏・坂田澄・渡部治編著
八千代出版

- 57年 『社会福祉の課題と展望－実践と政策とのかかわり』「児童福祉の現状と課題」
小沼正教授古希記念論文集 川島書店
- 58年 5月 『児童福祉を考える－子供のしあわせと家族福祉の接点』 高橋重宏・江幡玲
子編著 川島書店
- 59年 『社会保障論』「児童のための社会福祉サービス」小沼正・地主重美・保坂哲
也編著 川島書店
- 61年 4月 『社会病理学入門』大橋薫・高橋均・細井洋子編著 有斐閣
- 62年 1月 『母子心中の実態と家族関係の健康化』 川島書店
- 62年 9月 『家族と福祉の未来－現代家族と社会福祉への提言－』山根常男監修 本村汎・
高橋重宏編著 全国社会福祉協議会
- 63年 6月 『社会・介護福祉士への道』「養成する側からの注文」板山賢治・京極高宣編
著 エイデル研究所
- 63年 12月 『社会福祉援助技術(介護福祉士養成講座5)』「ソーシャルワーカーの専門性」
岡本栄一・仲村優一・吉沢英子編著 中央法規出版
- 平成元年 3月 『現代の社会福祉』「社会福祉とは」松本寿昭・高橋重宏編著 家政教育社
10月 『社会福祉施設現場実習マニュアル』 全国社会福祉協議会
- 2年 シリーズ福祉教育第6巻『社会福祉の専門教育』「大学における社会福祉教
育の展開」一番ヶ瀬康子・小川利夫・大橋謙策編著 光生館
- 4年 3月 『社会福祉援助技術総論』(介護福祉士養成講座8)「ソーシャルワークの専
門性」窪田暁子・武田健・仲村優一編著 中央法規出版
- 6年 3月 『ウェルフェアからウェルビーイングへ－子どもと親のウェルビーイングの
促進：カナダの取り組みに学ぶ』 川島書店
- 7年 3月 『人間と家族』田村健二古希記念論文集 中央法規出版
- 8年 3月 『社会福祉の方法』「児童福祉(1) 在宅子ども家庭サービスの展開とソーシャ
ルワーク(2) 子どもの社会的養護と子ども家庭サービス(3) 子どもへの不適
切な関わりとファミリーサービス」三ツ木任一・山田知子編著 放送大学教
育振興会
- 8年 3月 『児童福祉』(文部省著作教科書高等学校用)「児童福祉とその歩み」 文部省
- 8年 5月 『ハイライト 子ども家庭白書』「子どもの権利条約」高橋重宏・柏女靈峰他
編著 川島書店
- 8年 8月 『子ども家庭施策の動向』高橋重宏・柏女靈峰・山縣文治他編著 ミネルヴァ
書房
- 8年 11月 『養護施設の半世紀と新たな飛躍』「不可欠な公的権利擁護システムの策定」
全国社会福祉協議会養護施設協議会
- 9年 4月 『ビジュアル 子どもと家庭』厚生省児童家庭局企画課監修 全国社会福祉
協議会
- 9年 11月 『子育て広場武蔵野市立 0123 吉祥寺』「子ども家庭サービスの新たなプログ

- ラム」 柏木恵子・森下久美子編著 ミネルヴァ書房
- 9 年 11 月 『少子社会カルテ その現状と課題』 プレーン出版
- 10 年 3 月 『子ども家庭福祉論ー子どもと親のウェルビーイングの促進』 放送大学教育振興会
- 10 年 4 月 『ケースワーク社会福祉援助技術各論 Iー理論的アプローチと技法を中心に』 「ケースワークの今後の課題」久保紘章・高橋重宏・佐藤豊道編著 川島書店
- 11 年 3 月 『子ども虐待対応の手引き』 「虐待とは何か」 日本児童福祉協会
- 11 年 4 月 『先進国の社会保障③ カナダ』 「子ども家庭福祉」 城戸喜子・塩野谷祐一編著 東京大学出版会
- 11 年 4 月 『三訂社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術総論』 「社会福祉専門職と社会福祉援助活動」 太田義弘・岡本民夫・小田兼三編著 中央法規
- 11 年 10 月 『子ども家庭福祉』 高橋重宏・才村 純編著 建帛社
- 11 年 10 月 『戦後社会福祉の総括と 21 世紀への展望 I 総括と展望』 一番ヶ瀬康子・高島進・高田真治他編著 ドメス出版
- 12 年 2 月 『世界の社会福祉・日本』 「日本の子ども家庭の福祉」 仲村優一・一番ヶ瀬康子 旬報社
- 12 年 2 月 『子どもの権利と情報公開』 「制度改革と子どもの最善の利益」 古川孝順編著 ミネルヴァ書房
- 12 年 7 月 『子どもの権利擁護ー神奈川県の新しい取り組み』 中央法規出版
- 13 年 4 月 『厚生省 子ども虐待対応の手引き』 日本子ども家庭総合研究所編 有斐閣
- 13 年 4 月 『新社会福祉援助技術演習』 「価値と倫理」 社会福祉教育方法・教材開発研究会編 中央法規出版
- 13 年 6 月 『子ども虐待ー子どもへの最大の人権侵害』 有斐閣
- 14 年 2 月 『ソーシャルワーク実践の基礎理論』 北島英治・副田あけみ・高橋重宏他編著 有斐閣
- 14 年 6 月 『ソーシャルワーク演習』 北島英治・副田あけみ・高橋重宏他編著 有斐閣
- 14 年 6 月 『子ども家庭福祉とソーシャルワーク実践』 高橋重宏・山縣文治・才村純編著 有斐閣
- 14 年 8 月 『福祉キーワードシリーズ 子ども虐待』 高橋重宏・庄司順一編著 中央法規出版
- 14 年 12 月 『助産学体系第 5 巻母子の心理・社会学』 青木康子他編著 日本看護協会出版会
- 16 年 3 月 『青少年の育成を考える』 「子どもの権利と権利擁護サービス」 内閣府政策統括官監修 ぎょうせい
- 16 年 3 月 『社会福祉制度』 文部科学省検定済教科書高校福祉科用 「保護・支援を必要とする子どもたち」 大橋謙策監修 中央法規出版
- 19 年 『日本の子ども家庭福祉ー児童福祉法制定 60 年の歩み』 明石書店

- 20年 『福祉政策理論の検証と展望』 中央法規出版
- 20年 『子どもの虐待－親による子どもへの最大の人権侵害－』（新版）「むすびにかえて」日本社会福祉学会編 有斐閣
- 21年 『児童や家庭に対する支援と子ども家庭福祉制度』『児童福祉の理念と権利保障』芝野松次郎他編著 ミネルヴァ書房
- 22年 『ソーシャルワーク実践の基礎理論』有斐閣

【学術論文】

- 昭和45年 「東京都23区における自殺者の実態－自殺防止研究報告・その1－」田村健二・高橋重宏・松本寿昭他共著『東洋大学社会学部紀要』9
- 47年 「YNケース（長岡幸子）－ケース研究くその2＞身体障害者の自殺企図－」田村健二共著『東洋大学大学院紀要』8
- 47年 「自殺者の実態と背景」田村健二・阿和嘉男・鈴木秀夫他共著『厚生指標』第19巻第2号 厚生統計協会
- 48年 「T・Kケース（加藤とも子）－ケース研究くその3＞非行少女（徘徊・異性交遊）のファミリーケースワーク」『東洋大学大学院紀要』9 pp.61～80
- 49年 「新潟県東頸城群における自殺者の実態」田村健二共著『東洋大学社会学部紀要』10 pp.19～75
- 49年 「自殺のケースワーク研究」田村健二共著『東洋大学社会学部紀要』10 pp.95～146
- 49年 「ファミリー・ケースワークにおける主体性の問題」『東洋大学大学院紀要』10 pp.87～114
- 49年 「母性の精神衛生に関する研究」高橋種昭共著『日本総合愛育研究所紀要』10 pp.287～300 日本総合愛育研究所
- 50年 「A・Sケース－母子寮に緊急避難した依存的な母」田村健二編『母性意識の啓発に関する福祉方法論的研究』pp.31～41 資生堂社会福祉事業財団
- 50年 「F・Nケース－母子心中を企図した未婚の妊娠女性」田村健二編『母性意識の啓発に関する福祉方法論的研究』pp.42～53 資生堂社会福祉事業財団
- 50年 「母親クラブの効果的な組織及び運営の方法に関する研究」高橋種昭・吉沢英子共著『日本総合愛育研究所紀要』pp.209～223
- 50年 「社会福祉における主体性の問題」『淑徳短期大学研究紀要』14 pp.67～80
- 50年 「戦後における親子心中の実態」越水重四郎・島村忠義共著『厚生指標』pp.8～17
- 51年 「育児の病理と福祉的支援に関する考察－日本・デンマーク・チェコスロバキアを中心として」松島富之助編『育児に関する国際比較研究』pp.63～85 資生堂社会福祉事業財団
- 51年 「自殺防止のケースワーク的アプローチ」『ソーシャルワーク研究』第2巻1

- 号 pp.32～41 相川書房
- 51年 「チェコスロバキアの社会福祉」『厚生指標』第23巻第3号 pp.28～38
厚生統計協会
- 51年 「母子自・他殺（いわゆる母子心中）の実態」『子どもの人権を守るために』
9 pp.8～11 全国社会福祉協議会
- 52年 「複合殺（いわゆる心中）の実態－母子自・他殺の全国調査を中心として－」
上石隆雄共著『厚生指標』pp.9～21 厚生統計協会
- 52年 「“Child - Murder/Mother - Suicides in Japan”」『英文 P H P 』vol.8-5 pp.61～
76 P H P 研究所
- 52年 「都市児童の健全育成に関する福祉的需要についての社会学的解析研究」田
村健二他共著『日本総合愛育研究所紀要』13 pp.217～246
- 52年 「母子自・他殺（いわゆる心中）の社会統計的研究」『社会福祉学』18 pp.77
～94 日本社会福祉学会
- 53年 「養護施設入所児童の家族的背景に関する研究－戦後42年間における東京育
成園の入所児童の分析を中心として－」山根常男・高橋重宏・岩上真珠他共
著『駒澤社会学研究』第20号 pp.203～245
- 53年 「わが国の自殺と複合殺の実態・第一報告－青少年（20歳未満の自殺の実態
とその背景）」『淑徳短期大学研究紀要』17 pp.41～59
- 60年 「戦後39年間の東京都23区内における心中の実態」越水重四郎共著『厚生
指標』第32巻第15号 pp.10～21
- 60年 「社会福祉教育の実践と卒後教育－教育課程に関する調査結果の報告を中心
として－」『社会福祉教育年報5』pp.2～8 日本社会事業学校連盟
- 62年 「現代の家庭と子育て」『児童福祉年報1986・87年度版』pp.56～70 全国社
会福祉協議会
- 63年 「フィンランド」『世界の家族とコミュニティ』pp.77～100 国際社会福祉
協議会日本国委員会
- 平成元年 「真の意味で子どもの代弁をする国民会議の創設を」『とどけ！子どもたちに』
月刊福祉増刊号 pp.92～93 全国社会福祉協議会
- 4年 「世界の子どもと児童家庭福祉－カナダの子どもの実態と『国際家族年』へ
の取り組み」『月刊福祉』第75巻1号 pp.52～57 全国社会福祉協議会
- 4年 「児童と家庭に関するサービス・システムの国際比較－日本、オンタリオ州(カ
ナダ)と英国を中心に」高橋重宏・イト・ペンギン共著『日本総合愛育研究所
紀要』第28集 pp.115～128
- 4年 「国際家族年に向けて－急がれる1994年国連国際家族年への取り組み」『家
庭科学』第58巻第4号 pp.48～55
- 5年 「子どもと親のウェルビーイングを増進するための社会的・公的支援システ
ムに関する研究－家庭機能の概念とファミリーサービス・システムの構築を

- 中心にー」高橋重宏・岩上真珠・山縣文治他共著『日本総合愛育研究所紀要』第29集 pp.65～73
- 5年 「スタートした国連・国際家族年ースローガン：家族から始まる小さなデモクラシー」『家庭科学』第60巻第3号 pp.17～21 家庭科学研究所
- 5年 「国連・国際家族年への出発」『保育の友』第41巻第6号 全国社会福祉協議会
- 5年 「1994年国連国際家族年・家族から始まる小さなデモクラシーを理解するために」『月刊公民館』通巻435号 全国公民館連合会
- 5年 「国際家族年ーキーワードの解説」『世界の児童と母性』第35号 pp.39～42 資生堂社会福祉事業財団
- 6年 「揺れ動く家族と社会環境ーフォーマル・インフォーマルな相互扶助の接点と社会福祉実践」『淑徳社会福祉研究』第2号 pp.1～7
- 6年 「子どもの権利を保障する児童福祉サービスのあり方」高橋重宏・許斐有・二村克之他共著『日本総合愛育研究所紀要』第30集 pp.77～89
- 6年 「児童福祉施策の転換と新しい理念ー子どもと親（家庭）のウェルビーイングを促進するための児童家庭サービスの構築ー」『社会福祉研究』第60号 pp.124～132 鉄道弘済会
- 7年 「父子家庭施策のあり方に関する研究（1）302市町村の現行施策等の実態調査」高橋重宏・坂本健・庄司順一他共著『日本総合愛育研究所紀要』第31集 pp.69～77
- 7年 「子どもへの虐待に関する社会的インタベンションのあり方（1）子どもへの虐待の概念・定義の検討」高橋重宏・庄司順一・千賀悠子他共著『日本総合愛育研究所紀要』第31集 pp.79～89
- 7年 「子どもの権利擁護と子ども家庭サービス・システム構築への課題」高橋重宏・許斐有共著『日本総合愛育研究所紀要』第31集 pp.129～140
- 7年 「これからの子ども家庭サービスのあり方ーオンタリオ州の取り組みに学ぶー」『新しい家族』第28号 pp.21～39 養子と里親を考える会
- 8年 「父子家庭施策のあり方に関する研究（2）介護人派遣事業の現状と課題」高橋重宏・坂本健・庄司順一他共著『日本総合愛育研究所紀要』第32集 pp.77～86
- 8年 「子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）のアセスメント基準とその社会的対応に関する研究（2）ー新たなフレームワークの提示とビネット調査を中心にー」高橋重宏・庄司順一・中谷茂一他共著『日本総合愛育研究所紀要』第32集 pp.87～106
- 8年 「子どもの権利擁護と子ども家庭サービス・システム構築への課題ーカナダ3州（ブリティッシュ・コロンビア州、オンタリオ州、ケベック州）における子どもの権利擁護の動向」高橋重宏・木村真理子共著『日本総合愛育研究

- 所紀要』第32集 pp.161～169
- 8年 「少子化と都市の挑戦－地方自治体の新たな子ども家庭サービス」『都市問題研究』第48巻第2号 pp.17～35 都市問題研究会
- 8年 「子ども虐待の概念に関する検討－『児童虐待』から『子どもへの不適切な関わり（Child Maltreatment）へ』高橋重宏・中谷茂一・益満幸一他共著『駒澤社会学研究』第28号 pp.79～89
- 9年 「父子家庭施策のあり方に関する研究（3）ホームフレンド事業の実施状況と今後の父子家庭施策」高橋重宏・山本真実・庄司順一他共著『日本総合愛育研究所紀要』第33集 pp.105～126
- 9年 「子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）のアセスメント基準とその社会的対応に関する研究－新たなフレームワークの提示とビネット調査を中心に－」高橋重宏・庄司順一・中谷茂一他共著『日本総合愛育研究所紀要』第33集 pp.127～141
- 9年 「子どもの権利擁護のあり方に関する研究－大阪府「子どもの権利ノート」の成果と課題を中心に－」高橋重宏・濃野完治・前川朋子他共著『日本総合愛育研究所紀要』第33集 pp.207～239
- 9年 「マルトリートメントに関する児童相談所専門職員の意識」高橋重宏・坂田周一・東條光男他共著『駒澤社会学研究』第29号 pp.45～65
- 9年 「子ども家庭福祉とファミリーサービス」『教育と医学』第45巻第9号 pp.31～39 慶応義塾大学出版会
- 9年 「これからの児童相談所のあり方」『子ども家庭福祉情報』第13号 日本子ども家庭総合研究所
- 10年 「児童養護施設における被虐待・ネグレクト体験児童に関する研究」高橋重宏・庄司順一・谷口和加子他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第34集 pp.23～34
- 11年 「児童養護施設入所児童の強制引き取りに関する研究（その1）－強制引き取りされた子ども68ケースの分析を中心に」高橋重宏・才村純・福島一雄他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第35集 pp.7～23
- 11年 「児童養護施設入所児童の強制引き取りに関する研究（その2）－「児童の強制引き取りに関する状況について」自由回答結果の分析と考察」高橋重宏・鈴木力・福島一雄他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第35集 pp.25～31
- 12年 「子ども虐待に対応する児童福祉司の意識に関する研究」高橋重宏・才村純・谷口和加子他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第36集 pp.7～28
- 13年 「児童養護施設における子どもの権利擁護に関する研究」高橋重宏・中谷茂一・荒川裕子他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第37集 pp.7～35
- 13年 「日韓の子ども虐待と家庭内暴力に関する研究」高橋重宏・金聖二・Cho

- Namhee 他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 37 集 pp.37～47
- 13 年 「データでみる子どもの虐待・ネグレクトの実態」『児童心理』臨時増刊 pp.175～183
- 14 年 「児童福祉司の職務とストレスに関する研究」高橋重宏・中谷茂一・加藤純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 38 集 pp.7～48
- 14 年 「児童養護施設職員の職場環境に関する研究」高橋重宏・伊藤嘉余子・中谷茂一他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 38 集 pp.49～92
- 15 年 「児童相談所一時保護所の現状と課題に関する研究」高橋重宏・澁谷昌史・才村純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 39 集 pp.7～46
- 16 年 「児童相談所一時保護所の現状と課題に関する研究：その 2」高橋重宏・澁谷昌史・才村純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 40 集 pp.7～57
- 17 年 「児童養護施設における権利擁護の実態に関する研究－その 1－児童養護施設における子ども同士の権利侵害に関する意識調査－」高橋重宏・澁谷昌史・才村純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 41 集 pp.7～14
- 17 年 「児童養護施設における権利擁護の実態に関する研究－その 2－児童養護施設における子ども同士の権利侵害事例対応指針策定のためのインタビュー調査－」高橋重宏・澁谷昌史・才村純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 41 集 pp.15～25
- 18 年 「子ども虐待に関する研究（9）児童養護施設における権利擁護の実態に関する研究（その 2）子どもの権利ノートの活用実態について」高橋重宏・澁谷昌史・才村純共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 42 集 pp.3～49
- 18 年 「児童相談所における虐待家族の特性および支援プログラムに関する研究」澁谷昌史・高橋重宏・有村大士他許著『子どもの虐待とネグレクト』8 pp.12～19
- 19 年 「子ども虐待に関する研究（10）児童福祉司の職務とストレスに関する研究」高橋重宏・澁谷昌史・才村純他共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 43 集 pp.3～42
- 20 年 「子ども虐待に関する研究（11）一時保護所の職員のストレスに関する研究」高橋重宏・庄司順一・才村純共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 44 集 pp.3～36
- 21 年 「児童相談所におけるカルチュラル・コンピテンスに関する研究」高橋重宏・有村大士・山本恒雄共著『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 45 集 pp.3～35
- 22 年 「児童福祉法 28 条適用の現状と課題についての研究」『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 46 集
- 22 年 「児童相談所児童福祉司の専門性に関する研究」『日本子ども家庭総合研究所紀要』第 46 集

【委託研究報告】

- 平成 4 年 平成 3 年度厚生科学研究費家庭出生問題総合調査研究事業『家庭機能に関する研究－家庭養育機能及び家庭に対する社会的・公的支援に関する研究』報告書 主任研究者網野武博「家庭機能の整備充実にかかわる社会的・公的役割に関する研究」分担研究者高橋重宏
- 5 年 平成 4 年度厚生科学研究費家庭出生問題総合調査研究事業『家庭機能に関する研究－家庭養育機能及び家庭に対する社会的・公的支援に関する研究』報告書 主任研究者網野武博「家庭機能の整備充実にかかわる社会的・公的役割に関する研究」分担研究者高橋重宏
- 6 年 平成 5 年度厚生科学研究費家庭出生問題総合調査研究事業『家庭機能に関する研究－家庭養育機能及び家庭に対する社会的・公的支援に関する研究』報告書 主任研究者網野武博「家庭機能の整備充実にかかわる社会的・公的役割に関する研究」分担研究者高橋重宏
- 7 年 平成 6 年度厚生科学研究費家庭出生問題総合調査研究事業『子ども家庭サービスのあり方と実施体制に関する基礎的研究』報告書 主任研究者
- 8 年 平成 7 年度家庭・出生問題総合調査研究推進事業『おとなの子どもへの不適切な関わり』報告書 主任研究者
- 8 年 平成 7 年度児童環境づくり等総合研究事業『学際的手法による新たな子ども家庭サービス論の構築』報告書 主任研究者
- 8 年 平成 7 年度厚生科学研究費家庭出生問題総合調査研究事業『子ども家庭サービスのあり方と実施体制に関する基礎的研究』報告書 主任研究者
- 9 年 平成 8 年度社会保障・人口問題政策調査研究事業『子ども家庭サービスのあり方と実施体制に関する基礎的研究』報告書 主任研究者
- 9 年 平成 8 年度厚生科学研究費補助金特別研究事業『被虐待児童等の人格変容に対する治療・指導に関する研究』報告書 主任研究者
- 10 年 平成 9 年度厚生科学研究費補助金『子ども虐待・リスクマネジメントモデルの作成に関する研究』報告書 主任研究者
- 11 年 平成 10 年度厚生科学研究費補助金『子ども虐待・リスクマネジメントモデルの作成に関する研究』報告書 主任研究者
- 12 年 平成 11 年度厚生科学研究費補助金『子ども虐待・リスクマネジメントモデルの作成に関する研究』報告書 主任研究者
- 12 年 平成 11 年度子ども家庭総合研究事業『被虐待児の処遇及び対応に関する総合的研究』報告書 主任研究者
- 12 年 平成 11 年度児童環境づくり等総合研究事業『児童健全育成施策の評価指標のビジュアル化に関する研究』報告書 主任研究者
- 13 年 平成 12 年度児童環境づくり等総合研究事業『児童健全育成施策の評価指標のビジュアル化に関する研究』報告書 主任研究者

- 14年 平成13年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業『児童福祉分野における職員の専門性及びその国際比較に関する研究』報告書 主任研究者
- 15年 平成14年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業『児童福祉分野における職員の専門性及びその国際比較に関する研究』報告書 主任研究者
- 16年 平成15年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業『児童虐待防止に効果的な地域セフティネットのあり方に関する研究』報告書 主任研究者
- 17年 平成16年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業『児童虐待防止に効果的な地域セフティネットのあり方に関する研究』報告書 主任研究者
- 18年 平成18年度厚生労働科学研究費補助金プロジェクト推進型研究『子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究』報告書 主任研究者
- 19年 平成19年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合（政策科学推進）研究『子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究』報告書 主任研究者
- 20年 平成20年度児童関連サービス調査研究等事業『児童福祉司養成校のカリキュラム等のあり方に関する研究』報告書 主任研究者 財団法人子ども未来財団
- 20年 平成20年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合（政策科学推進）研究『子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究』報告書 主任研究者
- 21年 平成21年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業『子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究』報告書 主任研究者

【翻訳】

- 昭和58年 家族と家族療法 (M. ミニューチン、Families & Family Therapy, Harvard University Press, 1974) 山根常男監修 第1章、第11章、第12章、エピローグ分担訳 誠信書房
- 平成6年 まず、子どもを一子どものためのサービス諮問委員会報告 (Children First: Report of The Advisory Committee on Children Services, 1990) 高橋重宏監訳、高橋正子、木村真理子、二村克行 日本総合愛育研究所
レジデンシャル・ケアの児童とティーンエージャのための手引き (A GUIDE FOR CHILDREN & TEENS - IN RESIDENTIAL CARE - , CATHLIC

CHILDRENS SOCIETY OF METROPOLITAN TORONTO) 資生堂社会福祉事業財団

- 10年 海外の子ども虐待リスク・アセスメント・モデルカナダ国オンタリオ州コミュニティ社会サービス省『オンタリオ州における子ども保護のためのリスク・アセスメント・モデル』(Risk Assessment Model for Child Protection in Ontario, Ministry of Community and Social Services,1997) カナダ国オンタリオ州子ども保護援助協会連合会『オンタリオ州子ども福祉：サービス開始要件』(Ontario Child Welfare Eligibility Spectrum, Ontario Association of Children Aid Societies,1997) カナダ国ブリティッシュ・コロンビア州子ども家庭サービス省子ども保護コンサルテーション・サービス局『ブリティッシュコロンビア州における子ども保護のためのリスク・アセスメント・モデル』(The Risk Assessment Model for Child Protection in British Columbia, Ministry for Children and Families, Child Protection Consultation Services,1996) 高橋重宏監修 庄司順一他共訳 日本子ども家庭総合研究所
- 14年 ファミリー・グループ・カンファレンス・ソーシャルワークの新しいアプローチ (M. コノリー) (EFFECTIVE PARTICIPATORY PRACTICE Family Group Conferencing in Child Protection, ALDINE DE GRUYTER) 高橋重宏監修 高橋正子、澁谷昌史、有村大士共訳 有斐閣

【その他】

- 昭和49年 「クラブの中の人間関係」『母親クラブ』9 pp.6～10 日本児童問題調査会
- 49年 「東京プラスチック(身障者福祉工場)とともに生きる街づくり運動」『青少年問題』第21巻9号 pp.19～25 青少年問題研究会
- 50年 「ヨーロッパと東南アジアの児童福祉〔1〕フィンランド、スウェーデン」『子どもと家庭』第11巻6号 pp.35～39 日本児童問題調査会
- 50年 「ヨーロッパと東南アジアの児童福祉〔2〕デンマーク、西ドイツ、オーストリア」『子どもと家庭』第12巻1号 pp.41～45 日本児童問題調査会
- 50年 「ヨーロッパと東南アジアの児童福祉〔3〕イギリス、バングラディッシュ、マレーシア」『子どもと家庭』第12巻2号 pp.41～45 日本児童問題調査会
- 50年 「プラハ(チェコスロバキア)のイエドリチカ研究所」『世界の児童と母性』第1号 pp.28～30 資生堂社会福祉事業財団
- 50年 「コペンハーゲンのファミリー・ガイダンス(家庭福祉相談)」『世界の児童と母性』第1号 pp.47～49 資生堂社会福祉事業財団
- 50年 「社会主義社会における最近の児童福祉基礎文献」『世界の児童と母性』第2号 pp.53～55 資生堂社会福祉事業財団
- 52年 「青少年期とアイデンティティの探求」『教育じほう』7号 pp.49～52 東京都立教育研究所

- 52年 「青少年の自殺とその周辺」『子どもと家庭』第14巻4号 pp.40～45 日本児童問題調査会
- 53年 「ミュンヘン（西ドイツ）の重複障害児」『世界の児童と母性』第7号 pp.46～48 資生堂社会福祉事業財団
- 53年 「青少年赤十字とボランティア活動」『青少年赤十字』pp.2～8 日本赤十字社
- 54年 「私の国の子どもたち：バングラディッシュ」『保育の友』第27巻11号 pp.46～47 全国社会福祉協議会
- 54年 「現代の性と青少年－中高生の性非行について考える」シンポジウム 副田義也、江幡玲子、佐田智子共著 pp.1～32 東京都民政局
- 62年 「日報『絆』と取材をとおして考えたこと」『月刊福祉増刊号 国際会議総特集』第70巻2号 pp.172～175 全社協
- 63年 「ひとりて海を渡れ、わが子よ」『こころの教育』創刊号 菅原文太との対談 pp.90～100 エイデル研究所
- 平成2年 「カナダ日記① 22年ぶりのカナダ」『月刊福祉』2月号 pp.52～53 全社協
- 2年 「カナダ日記② 年末年始」『月刊福祉』3月号 pp.48～49 全社協
- 2年 「カナダ日記③ 知られざる大国」『月刊福祉』4月号 pp.52～53 全社協
- 2年 「カナダ日記④ 家族の絆」『月刊福祉』5月号 pp.52～53 全社協
- 2年 「カナダ日記⑤ モンロー・ブルム博士」『月刊福祉』6月号 pp.46～47 全社協
- 2年 「カナダ日記⑥ 子どもを親から守るワーカーたち」『月刊福祉』7月号 pp.46～47 全社協
- 2年 「児童の権利とメトロポリタン・トロントの児童家庭福祉」『月刊福祉』7月号 pp.48～53 全社協
- 2年 「カナダ日記⑦ ユース・エディション」『月刊福祉』9月号 pp.72～73 全社協
- 2年 「カナダ日記⑧ 夏を楽しむ」『月刊福祉』10月号 pp.52～53 全社協
- 2年 「カナダ日記⑨ 自然とのコミュニケーション」『月刊福祉』11月号 pp.64～65 全社協
- 2年 「カナダ日記⑩ ユナイテッドウェイ」『月刊福祉』12月号 pp.76～77 全社協
- 3年 「カナダ日記⑪ ジャパニーズ・ファミリーサービス」『月刊福祉』1月号 pp.54～55 全社協
- 3年 「カナダ日記⑫ 私の夢：日系ファミリーサービス国際セミナー」『月刊福祉』2月号 pp.56～57 全社協
- 3年 「カナダ日記⑬ マルチカルチャリズムを日本の新たなヒューマンサービスの基本理念に」『月刊福祉』3月号 pp.56～57 全社協
- 3年 「カナダ日記⑭ 国際化を考える」『月刊福祉』4月号 pp.56～57 全社協
- 3年 「カナダ日記⑮ マリオン・ボーゴ教授」『月刊福祉』5月号 pp.56～57 全社協

- 社協
- 3 年 「カナダ日記⑩ ラボ：ソーシャルワーク実践技能演習」『月刊福祉』 6月号 pp.56～57 全社協
- 3 年 「カナダ日記⑪ ソーシャルワーク実習」『月刊福祉』 7月号 pp.52～53 全社協
- 3 年 「カナダ日記⑫ 世界で最も人権意識の進んだ国」『月刊福祉』 8月号 pp.62～63 全社協
- 4 年 「児童の権利に関する条約とこれからの児童家庭福祉」『1992年度版保育年報』 全社協
- 4 年 「児童の権利に関する条約を理解するために」『児童委員活動の手引き』 第17号 全社協
- 4 年 「子どもの権利条約とこれからの児童家庭福祉」『児童手当』 第22巻7号 日本児童手当協会
- 6 年 『国際家族年の理念と日本の課題』 埼玉県社会福祉協議会
- 7 年 『子どもの権利と家族・社会』 神奈川県
- 8 年 「ウェルフェアからウェルビーイングへ」『厚生統計通信』 352号 厚生省
- 9 年 「児童家庭福祉」『アエラムック 社会福祉学のみかた』 pp.34～35 朝日新聞社
- 14 年 プロローグ：ソーシャルワークとカウンセリング『現代のエスプリ：カウンセリングとソーシャルワーク』 422 仲村優一氏との対談 pp.5～17 至文堂
- 15 年 子ども家庭福祉「将来を担う子どもたちの代弁者になる」子ども虐待—子どもと親のウェルビーイングをめざして『アエラムック 新版社会福祉学がわかる』 pp.30～31 pp.152～155 朝日新聞社
- 16 年 子どもをめぐる現状『ケース研究』 千葉家庭裁判所主催「法の日週間行事パネルディスカッション・基調講演」 pp.55～96 家庭事件研究会
- 17 年 わが師を語る〔7〕田村健二先生・ソーシャルワーク実践・臨床研究の師『ソーシャルワーク研究』 vol.121 pp.74～77 相川書房
- 19 年 「家族の機能と福祉」、「子どもの権利擁護」『エンサイクロペディア社会福祉学』 pp.906～909 pp.930～933 中央法規
- 19 年 「座談会：混迷する人びとの暮らしと社会福祉実践・研究の未来」『社会福祉研究』 第100号 pp.162～178 鉄道弘済会
- 20 年 「人権、社会正義を基盤としたソーシャルワーク教育」関西学院大学人間福祉学部・人間福祉研究科開設記念パネルディスカッション『人間福祉学研究』 1 (1) : pp.67～72
- 21 年 シンポジウム「日本子ども家庭福祉学会第10回全国大会：子ども家庭福祉の展望—学会の十年の歩みをふまえて」学会誌『子ども家庭福祉学』 第9号 pp.1～18 日本子ども家庭福祉学会